

鹿児島地区子ども会大会、指導者・育成者研修会兼日吉地域読書大会

祝受賞 おめでとうございます



- ★九州地区子ども会連絡協議会(感謝状)
- 松尾 四男(日置市)
- ★県子ども会育成連絡協議会表彰
- 照島地区子ども会育成会(いちき串木野市)
- つじヶ丘一区子ども会育成会(日置市)
- ★県優良少年少女団体表彰
- 平島子ども会(十島村)
- ★地区子ども会育成連絡協議会表彰
- 土橋子ども会(日置市)
- 諏訪子ども会(日置市)
- 野平地区子ども会(いちき串木野市)
- 川上ハッピー子ども会(いちき串木野市)
- 諏訪之瀬島子ども会(十島村)

大会は、日新子ども会の勇壮なお田植え踊り(鎌踊り)で幕を開けました。開会行事では、松下良照地区子ども会育成連絡協議会会長のあいさつに続き、奥善一日置市教育長の祝辞がありました。地区表彰、九州・県の伝達式も行われました。



あいさつをする松下会長



日新子ども会のお田植え踊り

子ども会活動・体験活動発表等
日吉地域「熊野子ども会」は地域に貢献する活動を、「北区子ども会」は、少人数で地域とのつながりを大切にしたい子ども会活動を発表しました。
日置市「関ヶ原戦跡踏破隊」と「岐阜県大垣市青少年交流事業」の体験活動では、新たな出会いと交流を通して貴重な体験ができたことなどが語られました。



関ヶ原戦跡踏破隊の様子

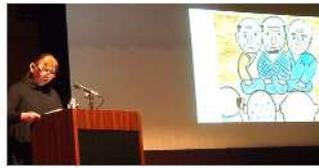
「地域の子もは地域で育てる」
「子どもは地域の宝」
「ひとの子も わが子も みんな地域の子」

数多くの実績があるいちき串木野市ジュニアリーダークラブ「チェリーブロッサム」は、人とのつながりを大切に、率先して行動していることを多くの実践を交えながら、発表してくれました。



発表してくれた日吉学園の皆さん

日吉町の昔話
図書館ボランティア
「わたしの一行」発表
日吉学園後期課程生9名が、わたしの一行と題し、自分の好きな本から一行を選んで、その一行に関する思いやエピソードを発表しました。
まだ21歳。しかし、もうプロ4年目です。
野球を頑張っている9年生の上口さんは、「不可能を可能にする大谷翔平120の思考」の本から右の一行を選び、大谷選手の哲学から学んだことを今後生かしていきたいと語ってくれました。



ボランティアによる読み聞かせ

日吉地域読書大会
発表スライド資料より

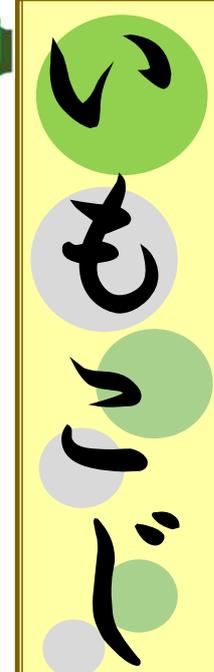


発表スライド資料より

また、地域の方からいちき串木野市を盛り上げる町づくりに対する熱い思いを聞くことができた。私には、その熱い思いに込められるべく力が湧いてくる。
今、職員には現場の大切さを伝えるようにしている。
教員になる前、営業マンとして過ごしてきた礎(いしずえ)が今でも生きていると感じる。

「わたしの一行」発表
日吉学園後期課程生9名が、わたしの一行と題し、自分の好きな本から一行を選んで、その一行に関する思いやエピソードを発表しました。
まだ21歳。しかし、もうプロ4年目です。
野球を頑張っている9年生の上口さんは、「不可能を可能にする大谷翔平120の思考」の本から右の一行を選び、大谷選手の哲学から学んだことを今後生かしていきたいと語ってくれました。

現場を大切に
いちき串木野市教育委員会
社会教育課長補佐 永井博文
昨年4月、鹿児島市より本市へ赴任した。
これまでの職と変わり、事業が上手くいくようサポートする立場に変わった。
そんな中、私が大切にしたいことは、どのような事業をしているか、そこに携わる人はどのような方なのか、その現場に行ってみることであった。
高齢者向けの「3B体操」の講座はどんな運動をされていて講師の先生は誰なのか、朝7時30分からしている交通安全啓発活動「旗の波」はどんな活動なのか、なぜ旗の波なのか、実際行ってみるとよく分かる。夜の会議や土日の会合にも可能な限り参加した。すると、上手くいっている事業、課題がある事業が見えてきた。改善策が浮かぶ時もあるが、浮かんでこない時は地域の方の助言をヒントにした。
また、地域の方からいちき串木野市を盛り上げる町づくりに対する熱い思いを聞くことができた。私には、その熱い思いに込められるべく力が湧いてくる。
今、職員には現場の大切さを伝えるようにしている。
教員になる前、営業マンとして過ごしてきた礎(いしずえ)が今でも生きていると感じる。



第59号
【年3回発行】
〈事務局・編集〉
鹿児島教育事務所

日置地区生涯学習推進大会・いちき串木野市生涯学習大会

ふるさとを愛し、夢と志をもち、心豊かでたくましい人づくり

祝 受賞
おめでとうございます
(順不同・敬称略)



住吉小糸氏は、いちき串木野市を拠点に活動する住吉社中の代表

講演

「明日に向かってっどんしゃん」

住吉小糸氏

すみよしこいと

開会行事

中屋謙治会長(いちき串木野市長)の開会のあいさつ(写真、中里純人市議会議長、吉留厚宏県議会議員の祝辞の後、地区・市の社会教育等に尽力された個人や団体の表彰が行われました。また、全国・県において受賞された方々の表彰伝達も併せて行われました。



- ★子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体 文部科学大臣表彰
- 串木野小学校読み聞かせグループ「花さき山」
- ★「コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰
- 旭小学校区地域学校協働活動
- ★日本PTA全国協議会表彰
- いちき串木野市立羽島中学校



です。住吉社中は、明治時代から続く伝統芸能を唯一守り続けている団体です。県内にもかつて多くいたという鹿兒島独自の芸者文化「てこしゃんせん」を継承しています。三味線に魅了され、伝統文化を残すために苦勞して芸を身に付けてきたことなどを話されました。当日は講演と併せて、演舞もありました。かわいらしい芸達者の子供を含む舞や三味線、唄はもちろん、小糸氏の鹿兒島弁を交えた軽妙なトークが場を和ませ、参加者を大いに楽しませてくれました。



講師の住吉小糸氏

- ★県優良グループ表彰 県読書推進運動協議会
- むぎばたけおはなし会(日置市)
- ★県文化財功労者表彰
- 池上成昭(日置市)
- ★日置地区社会教育振興会表彰
- 東清剛(日置市) ○満尾利親(日置市)
- 平川 香代子(いちき串木野市)
- いちき串木野市音楽のつどい実行委員会

◆コーラスはまゆう(いちき串木野市) 市来地域公民館で集まったコーラスメンバーです。「銀色の道」「私の太陽」「大きな古時計」の3曲、初めての発表でしたが、素敵なコーラスを披露していました。

◆エンジョイフィットネス「ズンバ」(いちき串木野市) いちき串木野市自主講座のグループです。ラテン系の陽気な音楽を使ったダンスフィットネスの魅力を存分に披露していただきました。笑顔で踊る姿に元気をもらいました。

◆前結び着物着付け講座(日置市) 日置市中央公民館自主講座のグループです。音楽に合わせて帯を結び「帯舞」を披露してくれました。鏡を見ることなくきれいに結ぶ舞に多くの人が見入っていました。



わが町から〜三島村教育委員会

10月22日、三島村歌舞伎「俊寛」が硫黄島で行われました。「三島村でなぜ歌舞伎が？」と不思議に思われる方もいるかと思えます。それは、「俊寛」という歴史上の人物を題材にした歌舞伎に関係があります。俊寛は、平安時代に平清盛によって島流しの刑に処された有名な坊さんです。その流刑の島が三島村の硫黄島でした。中村勘九郎さんの父親の18世中村勘三郎さんが是非、実際の舞台となった硫黄島で歌舞伎を演じてみたいということ、最初に実現したのが平成8年のことでした。そして、平成14年に第二回目が行われましたが、その10年後、勘三郎さんは帰らぬ人となってしまいました。息子の勘九郎さんはその遺志を受け継ぎ、十三回忌に合わせて、三回目の硫黄島公演を実現させたのです。

わが町から〜三島村教育委員会

10月22日、三島村歌舞伎「俊寛」が硫黄島で行われました。「三島村でなぜ歌舞伎が？」と不思議に思われる方もいるかと思えます。それは、「俊寛」という歴史上の人物を題材にした歌舞伎に関係があります。俊寛は、平安時代に平清盛によって島流しの刑に処された有名な坊さんです。その流刑の島が三島村の硫黄島でした。中村勘九郎さんの父親の18世中村勘三郎さんが是非、実際の舞台となった硫黄島で歌舞伎を演じてみたいということ、最初に実現したのが平成8年のことでした。そして、平成14年に第二回目が行われましたが、その10年後、勘三郎さんは帰らぬ人となってしまいました。息子の勘九郎さんはその遺志を受け継ぎ、十三回忌に合わせて、三回目の硫黄島公演を実現させたのです。

わが町から〜三島村教育委員会

10月22日、三島村歌舞伎「俊寛」が硫黄島で行われました。「三島村でなぜ歌舞伎が？」と不思議に思われる方もいるかと思えます。それは、「俊寛」という歴史上の人物を題材にした歌舞伎に関係があります。俊寛は、平安時代に平清盛によって島流しの刑に処された有名な坊さんです。その流刑の島が三島村の硫黄島でした。中村勘九郎さんの父親の18世中村勘三郎さんが是非、実際の舞台となった硫黄島で歌舞伎を演じてみたいということ、最初に実現したのが平成8年のことでした。そして、平成14年に第二回目が行われましたが、その10年後、勘三郎さんは帰らぬ人となってしまいました。息子の勘九郎さんはその遺志を受け継ぎ、十三回忌に合わせて、三回目の硫黄島公演を実現させたのです。

県PTA活動研究委嘱公開

～日置市PTA連絡協議会～

心豊かでたくましい子どもの育成～ふるさとの良さをつなぎ、地域に思いを馳せながら～

1月25日(土)、伊集院文化会館で開催され、436人の参加があり、伊作小学校「伊作ソールン節」と、モアナラニのフラダンスで幕を開けました。

開会行事では元山寿哉県PTA連合会副会長、谷川敬鹿児島教育事務所長が開会のあいさつを、永山由高日置市長が祝辞を述べられました。

次に日置市「あいさつの日」標語授賞式では、小・中学生の最優秀賞4名の表彰も行われました。

研究発表・協議

鶴丸小学校PTAは、コロナ禍で希薄になった繋がりを再構築するために地域を巻き込んだイベントを企画したことを、花田小学校PTAは、親子体力テストや花田農園など三者連携の取組を、東市来中学校PTAは、上市来中学校との統合に向けた取組や「東ちゃん会」の特色ある活動、5校区の特色を生かした積極的な活動を、それぞれ発表しました。



各学校の発表者



受賞者の皆さん



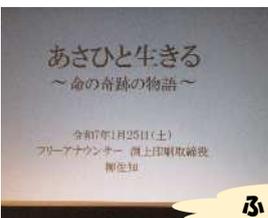
谷川敬鹿児島教育事務所長

協議ではスマートフォンを活用し、参加者の声を一斉に可視化できるDX参加型で行われました。

《参加者の感想・意見等》

- 学校ごとに特色があり、地域と連携しながら工夫していました。
- PTAで子供たちが楽しく学ぶには何をしてあげるべきか、今日の発表は参考になりました。
- 不易と流行のバランスが素晴らしかったです。

ふるさとの良さをつなぐPTA活動



「愛の餅贈り」市女性連

いちき串木野市地域女性団体連絡協議会は、令和7年1月7日、児童養護施設の子供たちに向けた「愛の餅贈り」活動を実施しました。

3代目奥田ノブ会長の際に、戦争孤児が、正月にお雑煮を食べられるようにと女性会員が餅を集めて配布したのが始まりで、今年で76年目を迎えます。今は衛生面を考え、各集落から集めていた餅は、お店で購入して贈るようにしています。

当日は、報徳学園、友愛学園、仁風学園の児童養護施設と児童発達支援施設で、とう虫の4施設に計650個の餅を配布しました。



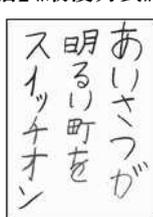
仁風学園松林園長は

「いつもありがとうございます。毎年この時期にいただけることに大変感謝しております」と、昭和27年1月7日の南日本新聞に掲載された記事を見せてくれました。記事には6つの養護施設に約千個の餅が届けられたことと、ルース台風で甚大な被害を受けた串木野市民が各方面からの支援を受け、ようやく立ち上がったことに謝意を表する意味を込めて、市来婦人会と協力し、愛の手をさしのべたと紹介されていました。各施設では、子供たちが、雑煮やぜんざい、焼き餅などにして喜んで食べて聞いています。

i(あい)がいっぱいあいさつ運動

社会教育課では、市民総ぐるみであるいさつ運動に取り組み、愛にあふれる明るいまちづくりの推進に向け、夏季休業中、市内小・中学生を対象に標語・シンボルマークの募集をしました。標語の部に258人、シンボルマークに210人の応募がありました。各学年で優秀賞を決定し(中学校は応募数により全体で一点)、その中から最優秀賞を決定しました。

【標語】《最優秀賞》



市来小3年 川畑珀斗

【シンボルマーク】《最優秀賞》



川上小5年 内田創大

表彰式は、昨年11月30日(土)に開催された市子ども会大会で行いました。受賞者の作品は、のぼり旗やポスターにして市内公共施設、串木野庁舎、市来庁舎、交流センター、小・中・高等学校、串木野特別支援学校に掲示しています。



i(Chikikusukinoshi) (いちき串木野市) には i がいっぱいあります。

今後は、愛に溢れ、あいさつ溢れる明るい街に向け、市民総ぐるみであいさつ運動を展開していきます。

わが町から いちき串木野市教育委員会

わが町からく日置市教育委員会

第33回 妙円寺詣りの歌暗唱大会

♪ 明けれど閑さす 雲暗く 薄かるかや
そよがせて 嵐はさくと 吹き渡り 万馬い
ななく 声高し♪ 【妙円寺詣りの歌の第一番】

「妙円寺詣りの歌暗唱大会」は、関ヶ原の戦いで、敵中突破を行った島津義弘公の勇気と決断力を学ぶために、日置市教育委員会が主催、伊集院地域子ども会育成連絡協議会が共催となり行っています。



伊集院北小学校会場の様子

伊集院小学校他、5地域の会場で、令和6年8月21日(水)の午後に行いました。今年度は、幼児から中学生まで計281人が、個人の部では、一番から22番まで完唱を目指す「月色コース」、一番から15番まで完唱を目指す「烏頭坂コース」、そして、複数の児童生徒で一番から22番まで完唱を目指す「団体コース」に分かれて、練習してきた成果を発表しました。「月色コース」では21人、「烏頭坂コース」では32人、「団体コース」では48組の児童生徒が「完唱賞」を受賞しました。

「月色コース」で完唱した児童生徒は、10月26日(土)に行われた「第74回 妙円寺詣り行事大会奉納行事」で、暗唱を披露しました。

今年で33回を終えたこの大切な行事を、今後も更に充実させていきたいと思っています。

伊作流 流鏑馬 《県指定》

伊作流 流鏑馬が記録として出てくるのは天文7(1538)年です。伊作(現日置市吹上町)領主島津忠良は、流鏑馬を奉納するとの誓いを立てて加世田城攻めの戦勝を祈願し、その願いが叶ったため、毎年奉納するようになったと伝えられています。487年の歴史を持つ流鏑馬は、宮下・宮内両家の世襲により継承されてきましたが、昭和63年に保存会が結成され、以来、地域の人によって伝承されています。

奉納当日の早朝、射手たちは、吹上浜で塩浜入りし、身を清めた後、神社正面の鳥居の前で「あげ馬」の儀式を行います。あげ馬は、神前に向かって祝詞をあげ、流鏑馬法と魔除けの九字を切ります。そして、先に別当の一人が駆け足で馬場を飛ばします。騎馬が駆け出すと、もう一人の別当がその後を追って、矢を拾います。一度目の馬駆けは試走で、騎手は手綱を取っていませんが、二度目からの本番では手綱を放す。これを三回繰り返す間、的に矢が当たるとに大勢の人で賑わう大汝牟遅神社の馬場沿道は歓声が上がります。的の平木は、魔除けの縁起物とされ、昔は人々が競って奪い合ったものでした。



わが町からく日置市教育委員会

わが町からく十島村教育委員会

島の伝統野菜「宝カブ」の栽培

本島の固有種である宝カブは、古来より島民の重要な食料として各家庭で栽培されてきました。しかし、時とともに栽培量は減少し、現在では種子も栽培法も失伝しています。

そこで、小宝島学園では昨年度から鹿児島大学の技術職員の方に種子を提供していただき、郷土学習「トカラ科」の中で宝カブの復活に取り組んでいます。昨年度はプランター栽培に取り組み、数个収穫できました。



今年度は作付面積を増やし、たくさん収穫して、皆で給食で食べようと児童生徒が一生懸命に世話をしています。

【宝カブ】のルーツを発見

カブには、中央アジア系と地中海系があるらしいです。

事前学習で、湿らせた種をティッシュペーパーにあてて系統を見極める実験をしたところ、宝カブは地中海系のものであることが判明しました。それにも、はるか遠いヨーロッパから、いかにして小宝島にまで届いたのか。平家の落人が持ち込んだのか。伝説の海賊キッドが島を訪れた際に置いて行ったのか。ロマン溢れる話のもと、収穫を楽しみにしています。

わが町からく十島村教育委員会

南九州市の文化財を巡る

11月19日(火)の日置地区文化財担当者等研修会は、好天に恵まれ、充実した研修会になりました。

★おなむち 大汝牟遅神社の「千本楠」社叢(日置市吹上町)【県指定】

★知覧城跡(南九州市知覧町)【国指定】

★清水磨崖仏(南九州市川辺町)【県指定】

大汝牟遅神社の「千本楠」社叢では、一か所に古い大楠が集中し、地を這うように横へ伸びる巨大な枝がみられる独特の景観に圧倒されました。



また、火山地形を活用した南九州特有の中世城郭である知覧城跡や断崖絶壁の場所に刻まれた約200基の清水磨崖仏では観光公認ガイドから、丁寧に説明をしていただきました。南薩地区の貴重な歴史を知る有意義な研修になりました。



編集後記

卒業式の定番ソング「旅立ちの日に」が聞こえてくる季節です。支えてくれた多くの人に感謝し力強く羽ばたいてくれることを願っています。

令和6年度も地域の貴重な情報を届けていただき、ありがとうございます。(事務局 田中)